

M-3-4-7

資料名 満洲へ

出所 南満洲鐵道株式會社

作成年

寄贈者

受入

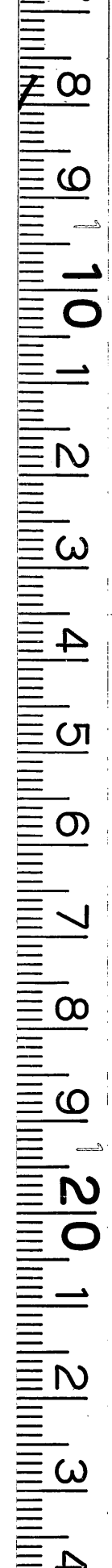
注記 東京鮮満案内所の宣伝 1 枚

23×32cm

滿洲



南滿洲鐵道株式會社



滿洲へ

過ぐる滿洲事變を契機として理想的人類の平和郷、五族協和の輝かしき王道樂土滿洲帝國は各種事業の勃興により目覺しき躍進の姿を堂々全世界に誇つて居ります。

日本に倍する廣袤百三十萬方料、豊かなるその天然資源は國防的にも經濟的にも我國と不可分の關係にあることは申迄もなく、これが開發こそ日滿兩國民に架せられたる使命にして、兩國の繁榮に至大の關係を持つて居るのであります。日清、日露、滿洲事變と既往三度の聖戰を経て平和を齎らした此廣漠たる聖地こそ、大和民族永遠の發展地でなければなりません。

躍進日本の霸業完成の爲に「行け滿洲へ」幾百萬の我移住者により、涯しなき豊饒山野を開拓し以て異郷に眠る我等先輩の英靈を慰め多年懸案の我人口問題並國防問題を解決し、日滿共存共榮の基礎を固めることが焦眉の急務であり、又我國民の義務であります。

今や隣接北支那との各種關係も我帝國の犠牲的庇護の下に著々成果を收め、日に増し濃密の度を加へて居ります。

「平和なる東亞の新天地」我大和民族繁榮の爲にも亦日滿親和開發の爲にも更に多數の視察者が日本海を或は支海、黃海を渡りて大陸の實情に親しむことが最も緊要事なりと存じます。

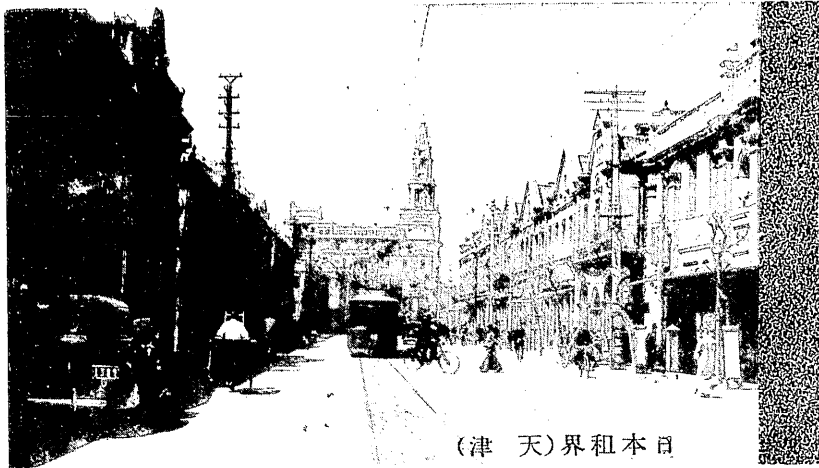
神戸、門司から海路大連へ、釜山から活氣潑潑たる朝鮮入道を縦貫して陸路安東又は圖們へ、敦賀、新潟を経て北朝鮮の港、清津、羅津へ!!

船は大型優秀船を配し鐵道は快走廣軌、航空の快適、道路完成してバスの四通八達距離はますます短縮され内地に劣らぬ凡有文化的設備は整つて居ります。

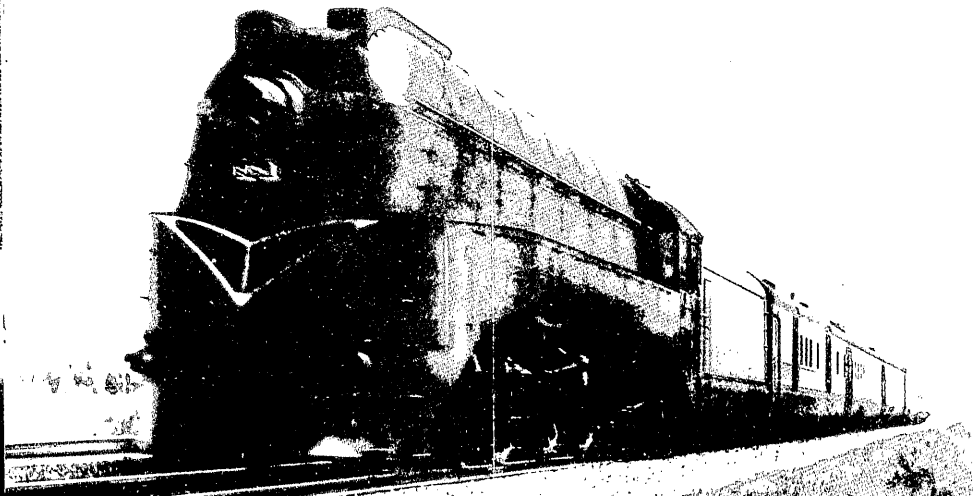
二旬乃至三旬の短かい鮮滿視察の旅が百聞は一見に如かずの諺通り將來の御活躍に裨益するところ極めて多大なりと信ずるのであります。

當案内所は滿鐵會社と朝鮮總督府とが大陸開發の爲内地對鮮滿連繫機關として設置經營のもので専ら鮮滿事情紹介、旅客、貨物運輸上の御相談に應ずることを業務とし其業務一切は「無手数料」でありますから何なりと御遠慮なく御利用を願ひます。

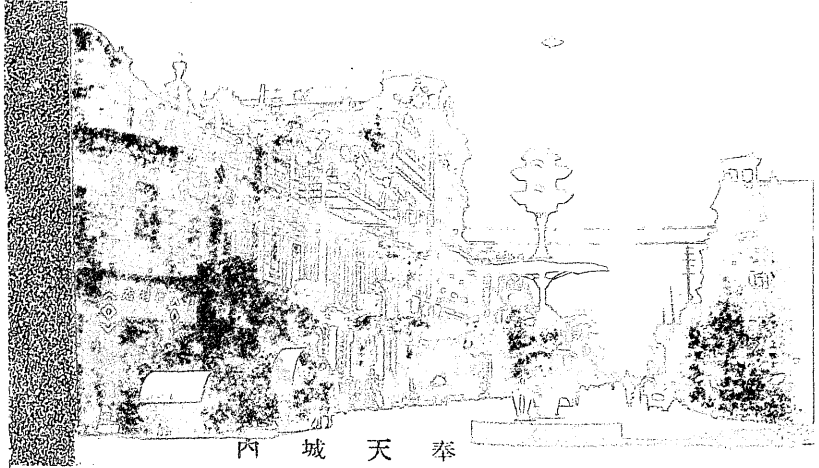
ハ支北は洲滿



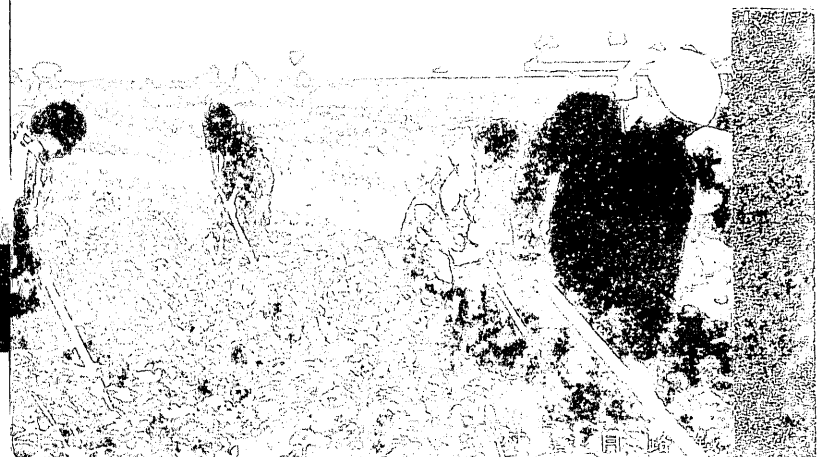
(津天)界租本日



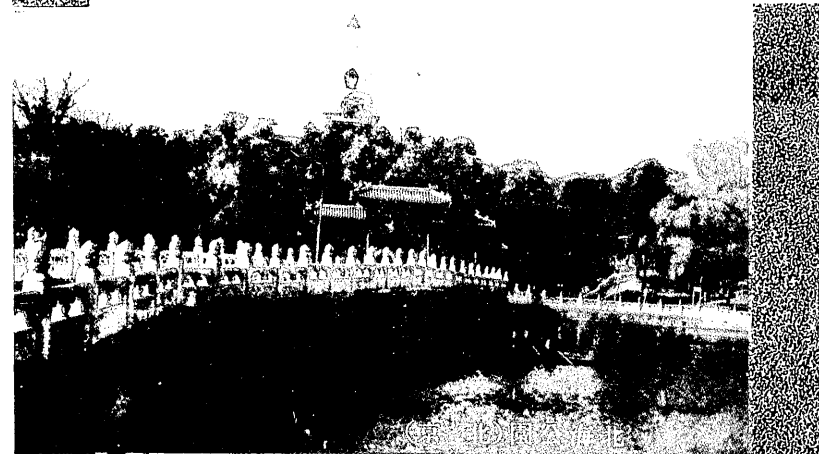
あじあ急特超



内城天奉



門城

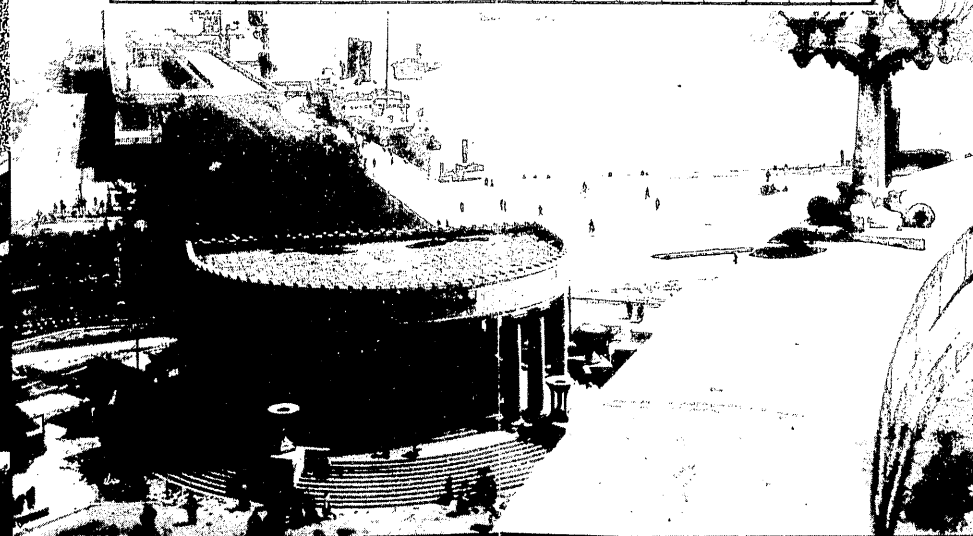


算概用費と程旅支・滿・鮮

總行日五十二 (二十人以上)				總行日一十二 (二十人以上)				總行日六十 (二十人以上)			
團體		單獨		團體		單獨		團體		單獨	
學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通
三等	二等	三等	二等	三等	二等	三等	二等	三等	二等	三等	二等
一五五、〇〇	二〇三、〇〇	三〇五、〇〇	二四四、〇〇	三〇九、〇〇	四一八、〇〇	一六、〇〇	一五五、〇〇	二五七、〇〇	一八一、〇〇	二六二、〇〇	三五六、〇〇
										八八、〇〇	一五〇、〇〇
										三三七、〇〇	二二八、〇〇
										一七一、〇〇	二七六、〇〇



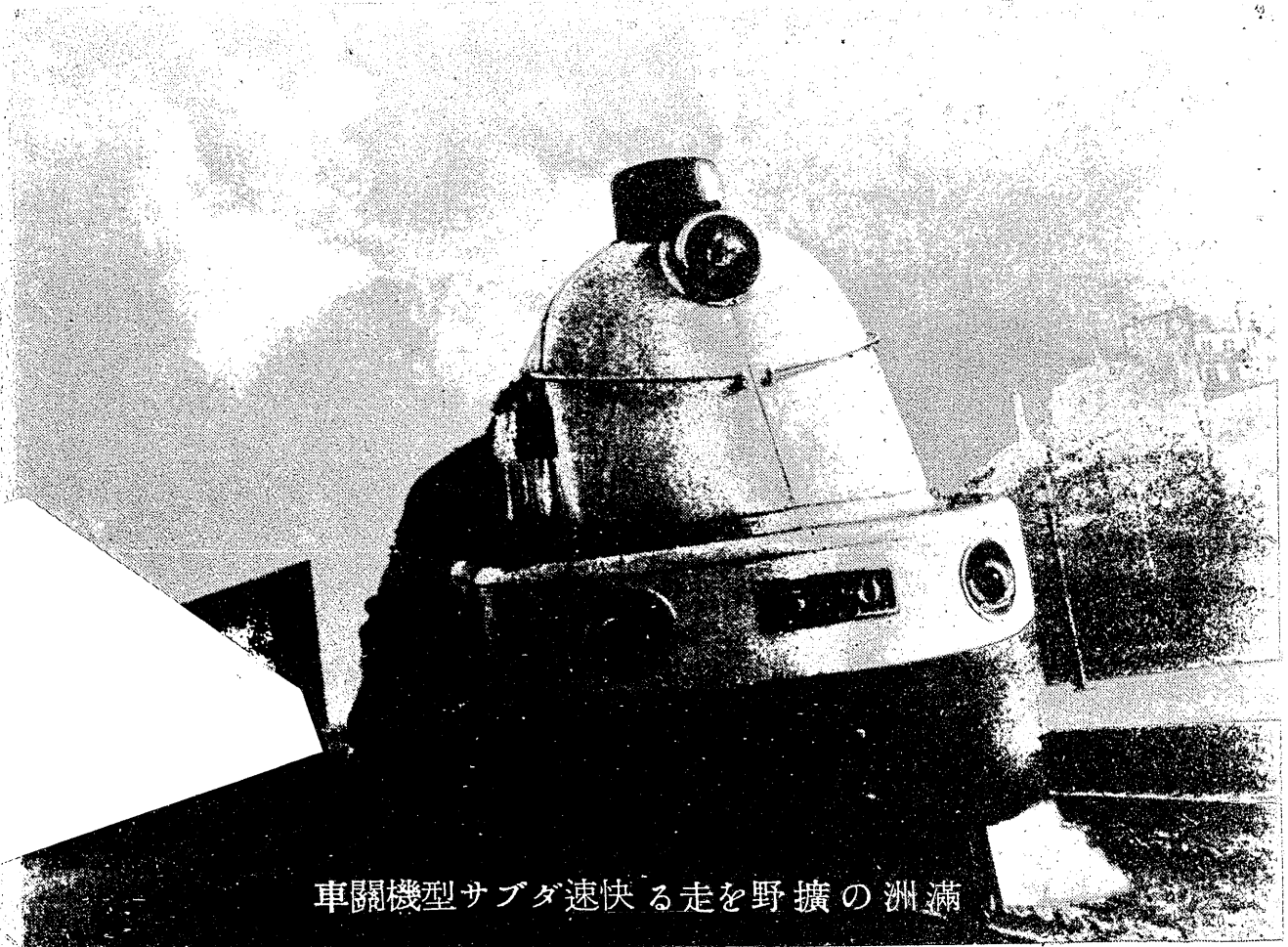
街市口家張



頭埠連大



塔ノ爾ダフ德承



満洲の荒野を走る快速サブダ型機関車

案内所の業務

- △朝鮮満洲に関する
各種の質問に回答
- △旅程と費用概算の作成
切符發賣旅行上の斡旋
- △貨物の運送並
通関事情に関する説明
- △朝鮮満洲事情のお話
活動寫眞の映寫應需

業務一切無手数料

東京鮮満案内所

東京丸ビル二階 電話丸内 (23) 二六八八
 二八七三
 二〇四五

東京鮮鉄丸ビル二階 電話赤坂 (48) 二二一九
 三三一九